

平成28年度事業報告書

特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

1 事業の成果

平成 28 年度が動き始める直前、平成 18 年度から取り組んでいた障害者バーチャル工房事業「せんだい庵」について、地域生活支援事業の見直しにより補助の対象から外れる旨の連絡があった。これを受け、臨時の理事会と総会を経ての定款変更手続きなど、就労継続支援 B 型事業所の開設準備に取りかかった。

一方、助成申請を行った 2 案件が採択され、後の取り組みに弾みとなる 1 年間となった。

変化に伴う新しい挑戦と振り返ることが出来る平成 28 年度の活動について、詳細を報告していきたい。

【平成 28 年度せんだいアビリティネットワーク実施事業】

事業名	事業内容	活動内容
①IT 支援事業	i IT 講習事業	仙台市委託・東北福祉大学委託講座
	ii IT サポート事業	在宅就労支援
	iii IT 支援関連事業	収入獲得支援・支援機器の導入支援
	iv 重度障害者コミュニケーション支援事業	重度障害者の意思伝達支援
②福祉支援事業	i 自助・自立のための支援事業	活動なし
	ii 福祉支援関連事業	福祉名刺・卓上カレンダー販売
③各種委託事業	i 東北福祉大学教育 GP 事務局委託	事務局運営
	ii ホームページ更新委託	ホームページ更新作業委託
	iii 伝の心カスタマーセンター業務委託	意思伝達装置の顧客の電話対応
④資格認証事業	i 重度障害者 ICT 支援コーディネータの資格認証	申請に対する審査・資格認証

① IT 支援事業

i. IT 講習事業

「IT 講習事業」は、計画案通り仙台市の委託事業と東北福祉大学特別支援教育研究室委託事業を通じて取り組んだ。

仙台市委託分については、全 9 講座を実施し、受益者（受講者）数は延 36 名となった。各講座の実施状況は次の通りである。

【仙台市委託分講習会】

講座名	実施時間	会場	受講者数
イラストレータ講座	16	東北福祉大学	5
フォトショップ講座	16	東北福祉大学	7
Web (HTML&CSS) 講座	16	宮城県障害者福祉センター	3
Web (ネットワーク) 講座	4	宮城県障害者福祉センター	3
3DCG 入門講座	8	東北福祉大学	5
3DCG 応用講座	25	東北福祉大学	4
パソコン入門講座 1 回目	10	東北福祉大学	4
パソコン入門講座 2 回目	10	宮城県障害者福祉センター	3
音声編集講座	4	宮城県障害者福祉センター	2
全 9 座	全 109 時間	2 会場	延べ 36 人

本年度、仙台市からの委託事業での「IT 講習」事業の特徴として、3D プリンタでの出力を念頭に置いた 3DCG 入門講座・応用講座の実施が上げられる。3DCG という名称では、敷居の高い講座を連想してしまうが、フリーソフトを活用することで、自宅での復習が可能な内容で実施した。その他、昨年度に引き続きパソコン入門講座を実施した。昨年度は受講者が少ないという結果になったが、会場を変化させることにより、1 回目が 4 名、2 回目が 3 名と増加し、受講者にとって参加しやすい条件を見つけ出すヒントになった。

次に、東北福祉大学特別支援教育研究室ひかり野塾から委託を受け、特別支援教育を要する生徒を対象としたパソコンスクールを実施した。会場は東北福祉大学ステーションキャンパスで開催した。

【東北福祉大学 特別支援教育研究室ひかり野塾委託パソコン教室】

講座名	実施回数	会場	受講者数
金曜日クラス	15回	東北福祉大学ステーションキャンパス	延べ39人(実3名)

中学生以上を対象とし、

1. パソコンを利用して、漢字の読み書きや文章を書く力を伸ばす。
2. 文字の大きさやレイアウトなどに気を配り、読む人を意識した文書作成が行えるように促す。
3. 表計算ソフトによるデータ処理の基礎を学ぶ。

の3本柱により就職にも役立つパソコンのスキルアップを目指した。

また、タッチタイピングの習得や情報モラル（著作権）、インターネットを利用した情報検索などを個々のスキルや要望に応じて指導した。

登録者は、3名（男性3名）。この3名中2名が、昨年度からの継続者で、1名が新規の登録者であった。補足として、開催初日は、4名（男性3名、女性1名）の登録状況であったが、女性1名が2回目以降、連絡が無いまま不参加が続いたことから、後に登録者名簿から除外した。

ii-1. ITサポート事業（在宅就労支援事業）

在宅就労支援事業では、拠点運営の一環として企業・団体・社会福祉施設へ出向き、PR活動・依頼業務の打ち合わせ・納品・集金を行い、在宅障害者がITを活用した業務遂行を通じ収入獲得につながる活動を行った。

今年度は、障害者バーチャル工房事業が位置づけられている地域生活支援事業の変更があったことから、バーチャル工房事業を通じて収入を得ている方々と、将来、在宅就労を検討している方々との交流機会の場として、座談会を実施した。

同時に、収入を得ている方々にとって、収入獲得機会を失わないようにするための手立てとして就労継続支援B型事業所の開設について準備を行った。

iii. IT支援関連事業

「IT支援関連事業」では、障害のある方の在宅就労支援事業の実践場面として【収入獲得支援】と重度障害者用意思伝達装置や日常生活用具（情報・通信支援用具）等の【支援機器の導入支援】に取り組んだ。【収入獲得支援】では「カッティングシート加工」「キーガード製作」「テープ起こし」「印刷関連」を受注した。

【収入獲得支援】

「カッティングシート加工」

前年度、カッティングシート加工の依頼は5件だった状況に対し、新しい発注者からの依頼もあり、本年度は13件へ増加した。

発注者	業務内容
コピーサービス店 2件	社名製作
建設関連会社	企業名作成
広告代理店	企業名作成
NPO法人	代替名作成
石材店 2件	顧客名作成
学習塾	塾名作成
美容院	店名作成
企業 3件	企業名作成
13件	

「キーガード製作」

キーガード製作では、前年度 2 件の状況に対し、8 件の受注となった。特にパシフィックサプライ株式会社からの要請を受け、キーガードとキーボードをセットにしたラインナップを開始した。これにより、1 度の受注で 5 台の納品が可能となり、件数以上の台数を納めることになり、加工用図面を担当する障害当事者の収入機会を増加することが出来た。

発注者
企業（群馬県）
個人（大阪府）
企業（宮城県）
個人（埼玉県）
個人（兵庫県 特別支援学校経由）
個人（福岡県）
パシフィックサプライ
アクセスインターナショナル
8 件

「テープ起こし」

昨年度に引き続き「テープ起こし」の依頼が入る。案件数は 2 件となる。

発注者
大学教員
2 件

「印刷関連」

「カッティングシート」加工同様、平成 19 年度に助成を受けた大判印刷機を活用し、印刷関連の依頼を受けることが出来た。この業務では、下記の通りポスター印刷、横断幕や看板で使用する長尺印刷、そして、会員企業と協力しながら冊子印刷等の依頼対応を行った。

発注者	業務内容
看護系学会	チラシ作成
医療系学会	大判印刷
個人	大判印刷
個人	包装紙印刷
大学教員	ポスター印刷
大学教員	挨拶状印刷
大学教員（3 件）	冊子印刷
スポーツ団体	表彰状印刷
10 件	

【支援機器の導入支援】

本事業では、販売時の収益から支援活動に必要な経費を捻出させる手法により、行政からの委託事業に依存しない意思伝達装置に関する支援活動を展開させた。この事業では、仙台市外に住む方への対応を中心に活動している。なお、今年度は 20 名への対応となった。対応を行っている自治体については、宮城県内が、これまでの大崎市、塩竈市、富谷市、東松島市、名取市、多賀城市、岩沼市、亶理町、川崎町に、今年度、登米市、柴田町、大和町が加わった。その他、山形県内においては、山形市、東根市、庄内町、舟形町、白鷹町、川西町。福島県では、相馬市、南相馬市。秋田県では鹿角市となっている。

本年度、新規の意思伝達装置導入が 9 件（伝の心 5 件・オペナビ 2 件・レッツチャット 1 件・呼び鈴 1 件）、本体修理 3 件（オペナビ 2 件・伝の心 1 件）、入力装置の修理 9 件、周辺機器（呼び鈴分岐装置）の修理 1 案件の状況となった。その他に、大学教員 2 名から視線入力装置やコミュニケーション機器の手配を依頼された。この事業では、機器の導入（販売）を行うだけではなく、それ以前に支援機器の新規導入相談や修理相談があるため、機器販売を通じた支援活動という方法により、意思伝達装置を必要とする方への支援活動を実現・継続させている。

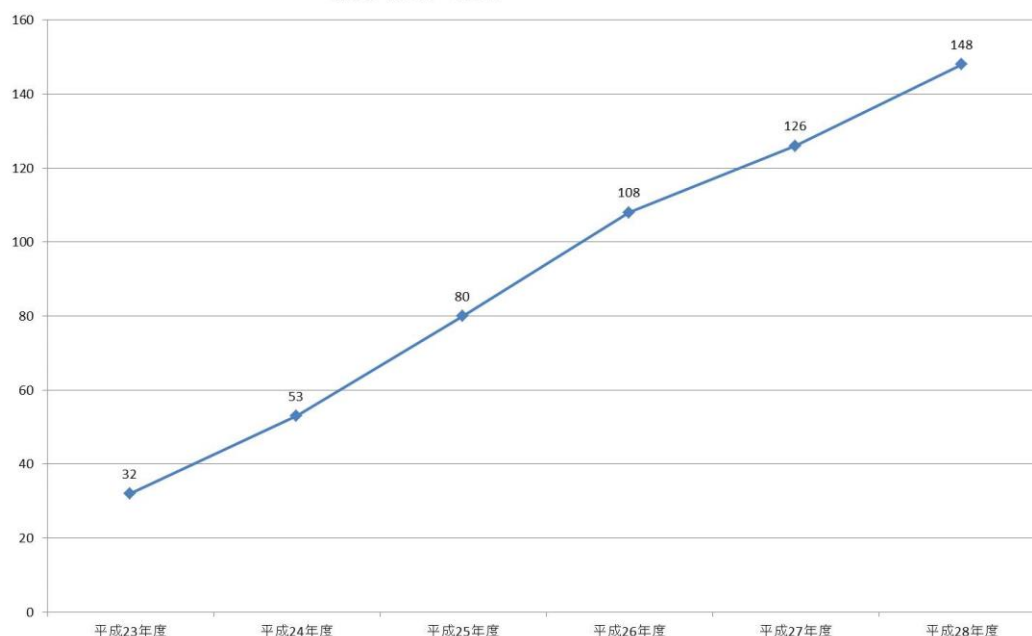
次に支援状況を示す指標となる訪問支援の件数は、療養されている自宅への訪問は 46 件、入院先医療機関へは 46 件となる。その他、町役場、市役所、保健所、障害者更生相談所での手続きは 48 件、その他、保健所での打ち合わせ等 7 件の計 147 件の稼働となった。

また、昨年度の報告で「将来、仙台市へ移住する予定のある方」の報告をしていた事項であるが、本年度、予定通り、仙台市への転居することになり、仙台市重度障害者コミュニケーション支援センターでの支援に繋がった事例となる。この取り組みは、仙台市内と仙台市外をつなぐための事業としても、大きな意義を持ち始めている。

iv. 重度障害者コミュニケーション支援事業

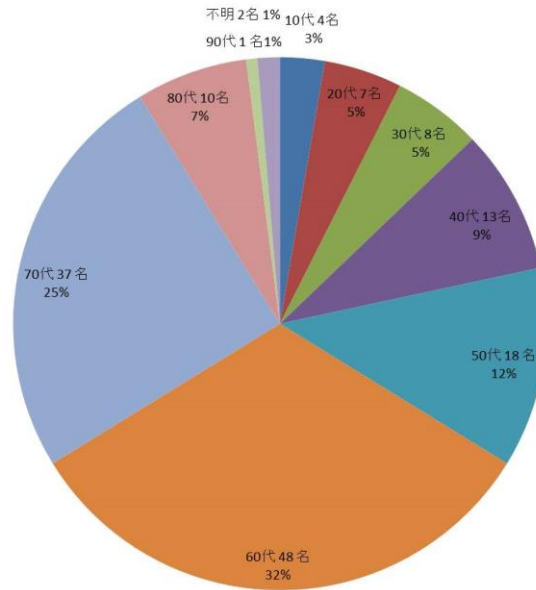
重度障害者コミュニケーション支援センター事業では、年々、利用者数が増加している。開設時の平成 23 年度は 32 名、平成 24 年度 53 名、平成 25 年度 80 名、平成 26 年度 108 名、平成 27 年度 126 名、そして本年度は 148 名となり、初年度から約 5 倍増している。その中で残念ながら、148 名の内これまで 30 名の方が他界されている。なお、年度内にセンターを利用された方は 81 名となった。

利用者数の推移 (単位:名 平成29年3月末現在)



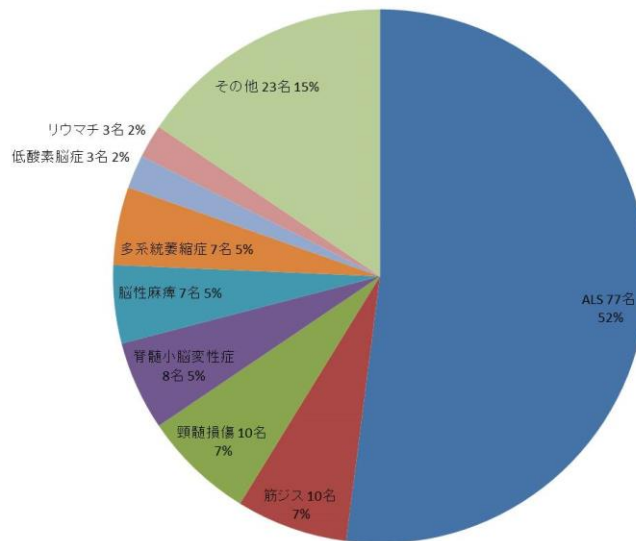
続いて、対象者の年齢を見ていくと、60代が 48 名 (32%) と一番多い。続いて、前後する年代となり、70代が 37 名 (25%)、50代の 18 名 (12%) と続く。不明者は、入院先の医療機関からの相談で対応を開始するが、訪問時に体調が優れないなどの理由から、医療機関の担当職員への情報提供でとどまり、その後、直ぐに転院が決まったため、詳しい属性を確認する事なく関与が終結した事例である。

センター利用者の年代別割合 (平成29年度3月末)



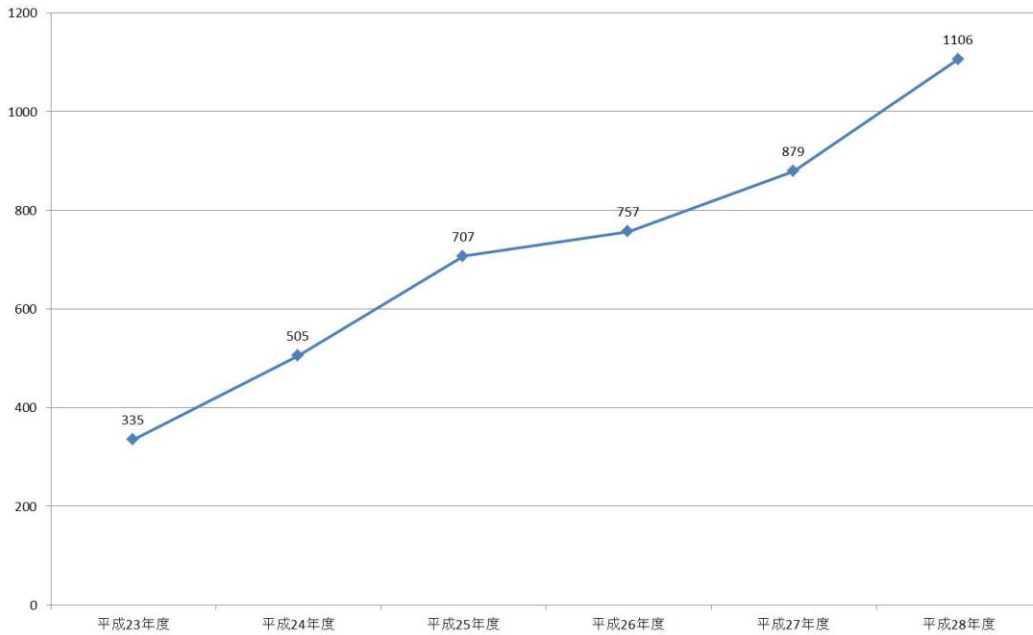
続いて、疾病別では、ALSが9名増え77名（52%）と半数以上を占めた。続いて、筋ジストロフィーが3名増え10名（7%）、頸髄損傷10名（7%）、脊髄小脳変性8名（5%）、の状況となる

本センター利用者の疾病別割合 (平成29年3月末現在)



次に、訪問件数の推移では、利用者数の増加に比例するように、初年度から増加傾向を示している。初年度では355件であった年間訪問件数が、平成28年度では1,106件へと推移している。

訪問件数の推移 (単位: 件 平成29年3月末現在)



本事業に関連する取り組みとして、ヘルパーへのスイッチ及び意思伝達装置取り扱い研修会や、仙台市の「補装具費・日常生活用具担当者会議」、宮城県肢体不自由児協会主催の「パソコンボランティア養成講座」、「第6回宮城メディカルリンク」、「多様な住まい方・生き方を支えるコミュニケーション支援にかかる集い in 仙台 (特定非営利活動法人在宅介護支援さくら会)」にて、意思伝達装置に関する話や仙台市の取り組みを報告する機会があった。

その他、職員のスキルアップのための研修会参加として、仙台市障害者ケアマネジメント研修会へ参加した。更に、第31回リハビリテーション工学カンファレンス(高知)、及び第4回日本難病医療ネットワーク学会学術集会にて本事業の取り組みについての報告を行った。

更に、平成29年2月28日に本事業について仙台放送から取り上げてもらう事が出来た。また平成28年12月13日の河北新報の「共に歩もう」やコミュニティニュースマガジン「みんなのわ(特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター)」に掲載頂くなど、多くの方々に取り組みを知ってもらう機会を得る事が出来た。

② 福祉支援事業

ii. 障害者作品商品化・販売事業

『福祉支援事業』では、例年通り「障害者作品商品化・販売事業」を継続した。福祉名刺では163件の注文があり、デザイン提供した障害者2人の定期的な収入獲得の継続が実現した。

③ 各種委託事業

『各種委託事業』では、引き続き「i. 東北福祉大学の教育プログラムの事務局運営業務委託」、「ii. ホームページの制作・更新の業務委託」、そしてパシフィックサプライ株式会社(大阪府)から委託を受けた重度障害者用意思伝達装置「伝の心」の「iii. カスタマーセンター業務」に取り組んだ。

i. 東北福祉大学教育重度障害者 ICT コーディネーター育成プログラム事務局運営業務委託

東北福祉大学の事業後方支援として、人材育成推進委員会資料の準備や各種印刷物の作成、重度障害者への地域支援のためのフィールドワーク事務局としての任務を行い、人材育成事業を補完する活動を展開してきた。

ii. ホームページ制作・更新業務委託

本年度も、障害のある方への在宅就労支援や IT 講習事業で学んだことを活かし、収入獲得機会なるようホームページ関連の業務委託に対応した。ホームページの更新関連では、前年度に引き続き「生活経済学会」、「日本金融学会」、「仙台市障害者職業能力開発促進事業」「仙台市障害者就労支援センター」「仙台市障害者福祉協会」の 5 案件について年間委託契約を継続する事が出来た。

他、昨年度から依頼を受けることになった「アプトジャパン」からも新たに更新業務委託を得る事が出来た。

発注者	業務内容
生活経済学会	年間更新業務委託
日本金融学会	年間更新業務委託
仙台市障害者職業能力開発促進事業	年間更新業務委託
仙台市障害者就労支援センター	年間更新業務委託
仙台市障害者福祉協会	年間更新業務委託
アプトジャパン	年間更新業務委託
東北通信機器株式会社	ページリニューアル
岩出の郷	更新作業・ホスティング
8 案件	

iii. 伝の心カスタマーセンター業務委託

伝の心カスタマーセンター業務委託を継続して実施した。電話対応件数は、安定した状況であり、本年度は 129 件となった。電話対応の内容については、伝の心の設定に関する相談、メール機能、インターネット接続、リモコン機能など伝の心側の相談の他、入力用のスイッチに関する相談も受けるようになってきた。対応内容としては、設定に関する内容が一番多く 19 件、続いてメールに関する問い合わせが 18 件、修理に関する連絡が 17 件、ブラウザ操作に関する内容が 17 件となっている。その他、年度の途中から、伝の心が Windows10 搭載機種に変更されたことから、Windows10 に関する問い合わせが入る様になった。なお月別対応件数については、下記の表の通りである。

「伝の心カスタマーセンター月別電話対応状況」

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
7	15	19	19	11	8	8	13	6	8	5	10	129

「コール業務（使用状況の聞き取り）」

前年度に引き続き、ユーザー登録者に対しての使用状況に関する聞き取りを行った。聞き取りのタイミングは、ユーザー登録後 1 ヶ月、2 ヶ月、3 ヶ月、6 ヶ月、1 年となる時期に電話による使用状況を確認した。月別の確認状況は、下記の表となる。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
8	35	52	24	48	39	22	9	25	3	30	16	311

④ 資格認証事業

重度障害者 ICT 支援コーディネータの資格認証事業を実施し、昨年度に引き続き 3 級の認証を行った。平成 28 年度は 7 名へ 3 級の資格認証を行った。

その他 助成事業

「丸紅基金社会福祉助成」

社会福祉法人丸紅基金が実施する社会福祉助成から、「視線入力装置の整備」事業の申請について採択を受ける事が出来た。この助成事業を通じた視線入力装置の整備により 2 台の視線入力装置が整備できた。これにより宮城県内で 1 台しかなかった視線入力装置が計 3 台となり、従来の意思伝達装置用の

入力装置では適合しなかった方の再挑戦の機会が得られることになった。

視線入力装置が納品されてから、ALS や多系統萎縮症の患者への試用機会提供や宮城県肢体不自由児協会が実施するパソコンボランティア登録者研修会での体験など、機器の活用がなされ始めた。

「ソフトバンクソーシャルチャレンジ」

ソフトバンクグループ株式会社が実施する、人型ロボット「Pepper」を非営利団体等へ貸し出すという取り組みについて申請を行った結果、優秀賞で採択を受ける事が出来た。テーマは、「ALS（筋萎縮性側索硬化症）の患者に対し、Pepper にコミュニケーションを代替させることで、家族との団らんの時間を充実させる」取り組みで、次年度から東北福祉大学情報福祉マネジメント学科の漆山研究室と仕組み作りについて共同開発する。

2 事業に関する事項

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
①IT支援事業						
i. IT講習事業						
	障害者対象講座(仙台市分)	下記	下記	延60人	障害者延べ38人, 発達障害児3人, 計41人	316
	パソコン入門講座①	8/8.9	東北福祉大学	4人	障害者4人	
	フォトショップ講座	8/25.29.31.9/3	東北福祉大学	16人	障害者7人	
	イラストレーター講座	9/4.5.6.7	東北福祉大学	11人	障害者5人	
	Web (HTML&CSS) 講座	11/12.19.20.26	宮城県障害者福祉センター	4人	障害者3人	
	Web(ネットワーク)講座	11/27	宮城県障害者福祉センター	1人	障害者3人	
	パソコン入門講座②	12/3.4	宮城県障害者福祉センター	4人	障害者3人	
	3DCG入門講座	2/25.26	東北福祉大学	6人	障害者6人	
	3DCG応用講座	2/28 3/2.7.9.11	東北福祉大学	11人	障害者5人	
	音声編集講座	1/29	宮城県障害者福祉センター	2人	障害者2人	
	発達障害児対象(特別支援教育PCスクール)	6/10.24.7/8.22.8/5.9/9.23.10/14.28.11/11.18.12/9.16.1/6.20	東北福祉大学	1人	発達障害児3人	
ii. ITサポート事業						
	下記	下記	下記	2人	障害者76人	560
	在宅就労支援	4/1-3/31(随時)	企業・団体等への訪問 SAN事務局内等での打合せ	2人	障害者76人	
iii. IT支援関連事業						
	下記	下記	下記	延5人	障害者6人 重度障害者20人 大学教員2人	4,871
	収入獲得支援事業 カッティングシート加工	4/1-3/31(随時)	事務局 障害者宅	2人	障害者1人	

	キーガード製作 テープ起こし 印刷関連 ・大判印刷 ・冊子印刷 ・チラシ作成 ・挨拶状印刷 ・包装紙印刷 ・表彰状印刷 支援機器導入事業		仙台市外近隣市町村 訪問147件	3人	障害者1 障害者3人 障害者1人 重度障害者20人 大学教員2人	
iv. 重度障害者コミュニケーション支援事業	下記 重度障害者への意思伝達支援	下記 4/1-3/31 (随時)	下記 仙台市内及び入院先医療機関 訪問支援879件 支援準備362件 電話・メール343件	5人 5人	障害者81人 障害者81人	3,124
②福祉支援事業						
i. 自助・自立のための支援事業	※平成28年度は計画協議のみ					
ii. 福祉支援関連事業	障害者作品商品化・販売事業： 福祉名刺	下記 4/1-3/31 (随時)	下記 事務局	2人 2人	障害者2人 市民延べ163人 作品製作者2人 (肢体不自由者) 販売数163件	425
③各種委託事業						
i. 事務委託	東北福祉大学事務委託	下記 4/1-3/31	下記 事務局	延16人 2人	障害者延べ9人 学生10人 重度障害者440人 学生10人	1,179
ii. HP制作・更新業務委託	HP制作・更新業務委託	下記 4/1-3/31 (随時)	事務局 障害者宅	2人		
	生活経済学会			1人	障害者1人	
	日本金融学会			2人	障害者2人	
	仙台市障害者職業能力開発促進事業			2人	障害者2人	

iii. 伝の心カスタマーセンター業務委託	仙台市障害者福祉協会			1人	障害者1人	
	仙台市就労支援センター			1人	障害者1人	
	岩出の郷			1人	障害者1人	
	アプトジャパン			1人	障害者1人	
	東北通信機器			1人	障害者1人	
	パシフィックサプライ株式会社	4/1-3/31	パシフィックサプライ(株)仙台営業所	2人	伝の心ユーザー(重度障害者)	
	電話対応の部 Call業務の部				129人 登録者延べ311人	
③資格認証事業						
重度障害者ICTコーディネーター育成資格認証	3級認定	下記	下記	2人	学生7人	8
		4/1-3/31	事務局	2人	学生7人	